

近畿北部地域の道路交通網整備について

近 畿 部 会 提 出
説 明 担 当 舞 鶴 市

高規格幹線道路などの高速道路交通網は、地域間交流、物流や企業立地などの社会・経済の活性化を促すとともに、災害時の緊急輸送、救急医療など生活における安心・安全を保障する重要な社会基盤であります。

しかしながら、近畿北部地域における整備状況は充分ではなく、地域間格差を解消し国土の均衡ある発展を目指すためには、連続したネットワークの形成による高速交通体系の確立、道路交通網の整備促進を図る必要があります。

つきましては、次の事項について特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

記

1 高速道路網の整備について

- ① 「山陰近畿自動車道」は日本海沿岸国土軸を形成し、高規格幹線道路に匹敵する道路であり、近畿北部における観光、地域産業を支援する重要な道路であるにも関わらず、全国的な幹線道路網の整備の中で唯一の「空白地帯」となっている。

全線整備に向けて、整備区間においては早期完成を、調査区間においては早期事業化を、未指定区間においては早期に調査区間への指定を図ること。

- ② 「山陰近畿自動車道」の整備に併せて、高規格幹線道路である「北近畿豊岡自動車道」の未完成・未着工区間の建設を促進し早期完成を図ること。

2 道路整備財源の確保について

地域生活・経済の活性化に関連した道路整備を着実に促進するため、安定した道路整備財源の確保を図ること。